

東北ブロック協議会 演題査読ポリシー

1. 目的

本ポリシーは、東北理学療法学会大会における投稿演題の評価プロセスを透明化し、学術的妥当性、倫理性、および本学会の主旨への適合性を公平に判断することを目的とします。

2. 査読体制

1) 演題査読者の選定:

東北ブロックに所属する会員のうち、過去の査読実績ならびに公益社団法人(以下、(公社))日本理学療法士協会が認定した専門理学療法士、修士もしくは博士学位をもつ認定理学療法士より、東北ブロック協議会学術大会部が選定します。なお、専門理学療法士および認定理学療法士は、学術大会開催前年の12月末までに(公社)日本理学療法士協会に登録されているデータを反映します。それ以降の変更は反映されません。なお、査読の依頼に対して、一定期間応答のない査読候補者は、以後除外といたします。

2) 査読方法:

応募演題1題につき原則2名の査読者が査読します。また、査読者が演者(筆頭、共同含む)となっている演題と査読者の所属施設から応募された演題については、当該査読者に原則割り当てをいたしません。

3) 査読方式

著者と査読者が共に匿名化された「ダブルブラインド方式」を採用します。

3. 査読基準

以下の項目を軸に、5段階(十分に考慮されている・ある程度考慮されている・最小限の考慮はされている・考慮されているが不十分である・考慮されていない)で採点を行います。

【項目】

1. 独創性があるか
2. 理学療法に関する貢献性があるか
3. 抄録内容が適切か
 - 3-1「演題名とキーワード」
 - 3-2「目的」(序論)
 - 3-3「方法」
 - 3-4「結果」
 - 3-5「考察」
- コメント(非公開)

【倫理的配慮・説明と同意】につきましては、学術大会準備委員会の中に設置された演題審査会にて一括で審査いたします。よって、各査読者は当該項目の内容が「十分に考慮されている」という仮定の下に査読をお進めくださいますようお願いいたします。

4. 判定の種類

査読結果に基づき、学術大会長が最終判定を行います。判定は以下の通りとします。

- 1) 採択: 修正なしで採択
- 2) 条件付採択: 指摘事項の修正を確認後、採択
- 3) 不採択: 内容の不備、または学術大会の主旨に著しく合致しない場合

【不採択の基準例】

- 研究倫理に（個人情報保護、利益相反の開示等）に抵触するもの
- 内容が著しく不十分、または宣伝広告を主目的としているもの

5. 倫理規定と利益相反（COI）

- 倫理遵守: ヒトを対象とする研究については、各機関の倫理委員会の承認または、および厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」などの医学研究に関する指針に基づき対象者の保護には十分留意していること。
- 利益相反: 発表者は、抄録登録時に規定の COI 開示を行う義務を負う。
- 守秘義務: 査読者は、査読過程で得た情報を第三者に漏洩してはならず、自身の研究に利用してはならない。

以上

作成: 東北ブロック協議会学術大会部

2026/05/01